

特集 新人作家に注目

『貸出禁止のたまゆら図書館』 既刊2巻

一石 月下/著 KADOKAWA 富士見L文庫



高校生活への夢を膨らませていた千穂は、友と引き離され絶望していた。失意の彼女が吸い寄せられる様にたどり着いた《たまゆら図書館》。そして出会った書妖（本に憑いた妖怪）・白火と個性豊かな妖怪たち。千穂は白火に自身と同じものを感じ、彼に会うために図書館の手伝いを始める。様々な妖怪や来館者たちとの触れ合いは少しずつ彼女を変えていくが、同時に白火の過去や、親しい妖怪との死別、失意の原因であった弟・秋人の知られざる孤独にも遭遇し…。出会いと別れが交錯する、ちょっと切ない怪奇譚。



『よすが横丁修理店』 迷子の持ち主、お探します 及川 早月/著 中央公論新社 中公文庫

祖父に憧れる「ぼく」は、入院した祖父に代わりに面倒を見てくれる祖父の弟子・エンさんと二人暮らし。エンさんや祖父は「道具」の言葉を聞いたり、「道具」と人の“縁”を見たり弄ったりできる不思議な力を持っていて、古道具の修理屋を営んでいる。祖父と同じ力を持っていた「ぼく」は、時にエンさん達と協力して「道具」の思いを聞いたり持ち主を探してあげたりしていたのだが、ある時出会った同年代の「シロくん」との友情と共闘と突然の悲しき別れ、そして彼の衝撃的な真実を知って以来「ぼく」は段々と記憶が消えるようになり始めて…。

『ある朝目覚めたらぼくは』 オートマタ 機械人形の秘密 既刊2巻 要 はる/著 集英社 集英社オレンジ文庫



資産家・遠江家の私有地に作られた、中世ヨーロッパを彷彿とさせる町『エデン』。アンティーク好きな祖父と孫がそこに骨董店『エトワール』をオープンしようとした矢先、祖父が他界。天涯孤独となった孫・遼は店を継ぐため、祖父との思い出の品である機械人形を伴って、『エトワール』にやってきたが、越して早々人形の持ち主という女性が現れ、更にその人形「ララ」に実に数千万もの価値があることも判明して…。次々と遼に降りかかる婚約に豪邸に強盗に猛撃？不思議な町『エデン』で起きる、小さな奇跡の物語。



『図書館ドラゴンは火を吹かない』 東雲 佑/著 宝島社

魔法使いである育ての母と森の獣たちの愛情を受け大きくなった心優しい少年・ユカ。「魔法使いは邪悪な存在」—そんな世間の間違った常識をなくすために物語師になるべく旅に出た彼は、山の中でメスのドラゴン・リエッキと出会う。彼女との出会いが、のちに伝説となる少年の大きな一歩となった。

穏やかな口調の語り手が私たち読み手に語る物語は決して楽しいお話ばかりではありませんが、大切な仲間たちを想い合う愛に溢れた物語です。

『天盆』

王城 夕紀/著 中央公論新社



蓋の国。この国は盤戯・天盆に長けた者が身分に関係なく国の中心に立ってきた。しかし長いこと平民からは現れず、さらには天盆の才能ない者が為政者の立場に居座り続けたために、国は少しずつ弱くなっていった。そんなこの国に暮らす10歳の少年・凡天は天性の才能とそれに勝る天盆への愛情を武器に、国の頂点を決める天盆陣に挑む！

天盆にすべてをかける少年と、どんな時でも支え合う家族のお話です。未来をかけた手に汗握る対局の行方を見守ってください。



『尾道茶寮夜咄堂』 おすすめは、お抹茶セット 五百円(つくも神付き) 既刊2巻 加藤 泰幸/著 宝島社 宝島社文庫

唯一の肉親、父が急逝し、遺品整理のため父の茶寮店・夜咄堂に来た大学生・千尋。彼は家族を蔑ろにしていた父に嫌悪感を覚えていた。店舗と父の遺品を売り払えるのは好都合…。そう考えていた彼の耳に響く店内からの謎の声。何と夜咄堂は付喪神の跋扈する店だったのだ。千尋を跡取りと信じ切る父の遺品に宿った付喪神たち、常連客、そして生前語られなかった父の思いに押し切られ、店を継いだ千尋だが、茶も経営も素人の彼に待ち受ける様々な試練。果たして無事に乗り切れるのだろうか。

急な気温低下に木枯らし！目まぐるしい気候変化に十分ご注意を。
さて、今回の特集は「新人作家に注目！」です。
当編集部選りすぐりのルーキーたちにご注目！